

# ふるさと光の会だより

第6号  
平成23年4月

発行 ふるさと光の会事務局  
連絡先 〒743-8501 光市中央六丁目1-1 TEL0833-72-1400  
FAX0833-72-1436 E-mail kikaku@city.hikari.lg.jp



がんばろう日本！  
がんばろう国体！

## 東日本大震災

## 光市からも支援の輪

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、東北地方をはじめとする東日本に甚大な被害をもたらしました。日本のみならず世界中が深い悲しみに包まれる一方で、各地で温かい支援の輪が大きく広がり、被災地に希望を届けています。

光市でも、社会福祉協議会や青年会議所、NPO法人が支援物資を送ったり、多くの市民、自治会、学校、企業や団体などで義援金の寄附や募金活動に取り組んだりしています。また行政も、職員を被災地に派遣し、緊急消防援助や給水活動、保健衛生活動などの支援を行っています。

大変な苦難の中で、一生懸命に前を向いて生活されている被災地の人たちの姿、そしてそれを支えたいと願う人たちの姿には、強く心を打たれます。たくさん思いやりの輪が、被災地を優しく温かい光で照らしてくれることでしょう。

東日本大震災で犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表し、被災された方々に心からお見舞い申し上げるとともに、被災地の一刻も早い復興をお祈りいたします。

「ふるさと光の会」役員一同

## 第5回「ふるさと光の会」

## 総会・交流会 7月8日に開催

第5回「ふるさと光の会」総会・交流会を、次のとおり開催いたします。お誘い合わせの上、多くの皆さんのご参加を、心からお待ちしております。

また、光市にゆかりがあり、また会員ではない方がいらっしゃいましたら、この機会にぜひともご紹介ください。同郷の輪を大きく広げましょう！

詳細なご案内は、後日改めてお送りいたしますが、取り急ぎ日程等をご案内いたします。



▼日時 平成23年7月8日(金)

総会 18時～・交流会 18時50分～(予定)

▼会場 八重洲富士屋ホテル

(JR東京駅 八重洲口から徒歩5分)

▼会費 交流会参加者のみ7,000円(予定)

※会場確保等の都合により、金曜日夕刻の開催となりましたのでご了承ください。

# 第1回役員会を開催 活動方針など協議

1月22日、「ふるさと光の会」監事の金子和男さんが経営するフランス料理店「エピスカネコ」（港区西麻布）で、第1回役員会を開催しました。

昨年の総会で方針決定したとおり、会員を中心とする自立的な運営へ移行するため、中原靖生会長をはじめ、副会長、監事、事務局長の7名の役員全員が集まり、今後の会の活動方針などについて協議しました。

会議では、会の設立趣旨がふるさと光のUJイーターンのネットワークづくりであることを再確認し、活動方針として、会員の拡大や会報等による情報提供に取り組むことや、今年の総会・交流会の開催日程などを決定しました。また、UJイーターン



意見を取りまとめる  
中原靖生会長



「エピスカネコ」での役員会の様子。  
ちなみに「エピス」とはフランス語でスパイスのことだそうです。

施策の手法などについて意見を交わしました。

今後も、役員が十分に連携しながら情報共有を行い、必要に応じて随時役員会を開催し、皆さんにご報告します。皆さんも、ご意見やご提案などがありましたら、お近くの役員または光市（連絡先は会報1面上部に記載）にどうぞご連絡ください。

## ちょっと休憩

役員会で、「エピスカネコ」の「ス料理をいただきました。金子さんのこだわりは、山口県東部の食材をふんだんに使うこと。当日のメニューにも、周防瀬戸のナスや高森の黒毛和牛、光のイチゴなどが使われ、とても美味しくいただきました。皆さんも、ぜひご賞味あれー！

ようこそなごきようかい！

## 新任役員あいさつ



副会長  
藤井 政道 さん

昨年7月の総会におきまして、副会長に就任させていただきました。ありがとうございました。

「ふるさと光」にたくさんの方、たくさんの方の思い出をいただきまして、すでに光に実家はありませんが、3年に一度の中学校の同期会を楽しみに、日々東京で悪戦苦闘しております。

「ふるさと」は遠きにありて思うもの「などと申しますが、「いつの日にかまた、あの白砂青松のふるさとに住みたい」なども思う今日この頃です。

関東と光を結びネットワークとしての「ふるさと光の会」に微力ながら貢献できれば幸いです。

今後とも、会員各位のご協力、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



事務局長  
高山 信夫 さん

昨年7月「ふるさと光の会」に就任させていただきました。ありがとうございました。

ふるさとを離れて30年以上になり、とかく仕事関係者との付き合いが中心の生活になりがちで「光」が徐々に遠くになっていました。近年、高校同窓会の関東支部の会合への参加等で光市出身者の方々とお話しさせていただく機会が増え、懐かしい話に共感したり、自分の知らなかった「光」を教えていただいたりと、「光」がとても身近に感じられるようになり、こうした利害関係のない同じ仲間、仲間を大切に感じています。

ふるさと光の会は、今後は行政主導の運営から会の自立的な運営への移行時期を迎え、事務局の役割も重要になってまいります。微力ながら会の発展に少しでも貢献できますよう努めてまいります。皆さまのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 会員のひろば

前号に引き続き、第4回総会・交流会の出欠返信はがきでいただいた「ふるさと光へのメッセージ」をご紹介させていただきます。

○いつまでたっても「ふるさと」です。光が好きで、今でも本籍を光においたままです。これからも続けたいと思っています。今でも強い印象に残っている、虹ヶ浜海水浴場と象鼻ヶ岬はこれからも続くことでしょう。

○象鼻ヶ岬の室積台場について、もっとPRされたら良いなと思いました。なぜならば、幕末に日本中に台場が造られたようですが、室積台場は、あまり知られていないと思うからです。

○ハーフマラソンを企画したら良いと思います。全国でも1位、2位をあらそう中学女子駅伝、大和中、浅江中、この近年、マラソンブームです。この様な中学のレベルはたいしたものですよ。

○光を離れて40年、還暦を迎えました。時折瀬戸内の海を思い出します。あのきれいな海をいつまでも残していただきたいですよ。

○古稀すぎて家事介護も加わり、体力力の衰えを感じる此の頃ですが、光と聞くと只々懐かしく、元気が出るのが不思議です。まこと、ふる里は元気の源と思います。

○蔵書を図書館に寄贈しました。皆さんのお役に立てばと願っています。

○いつもなつかしい思い出……。やっぱりふるさとでしょうネ。山と海に囲まれ自然的にも恵まれたふるさとでしょうか。

○年に2度程帰っています。

○昭和23年頃、6・3・3制の施行に伴い、光工廠宿舍の廃材を再利用し、周防中学校が造られ、がり版刷教科書で学んだことが、懐かしく思い出されます。

○母が一人暮らしなので、たびたび光市に帰るようになりました。先日、「ぐるりんバス」を利用しましたが、室積在住の母にとっては、ちょっと利用しづらかったようでした。(初めての利用だったので)

○光出身の“あさみちゆき”さんの活躍をTV、新聞などで目にする事が多くなり嬉しく拝見しております。

## ふるさと光応援寄附金(ふるさと納税)に 心温まる応援、ありがとうございます

寄附を通してまちづくりに参加していただく「ふるさと光応援寄附金」に、平成22年度は9人の方から、光市の生活や自然の思い出など温かいメッセージとともに、ご寄附をいただきました。本当にありがとうございます。

いただいたご寄附を魅力あるまちづくりに活用するとともに、引き続き「ふるさと光応援寄附金」を募集します。ご寄附の活用方法は、

- ①「おっぱい都市宣言」の理念を踏まえた少子化対策
- ②「自然敬愛都市宣言」の理念を踏まえた環境保全活動
- ③「安全・安心都市宣言」の理念を踏まえたまちづくり

などからお選びいただけます。

お問い合わせ・お申し込みは、光市企画広報課までご連絡ください。

## 白砂青松10万本大作戦

会員の皆さんや、ふるさと光応援寄附金にご協力いただいた方々から、白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸を思うメッセージがたくさん寄せられています。両海岸が過去からずっと、本当に多くの人に愛されていることが改めて感じられ、嬉しく思います。

光市では、「自然敬愛都市宣言」の理念を踏まえ、ふるさと光応援寄附金でいただいたご寄附などを活用して、「白砂青松10万本大作戦」に取り組んでいます。地域ボランティアや地元中学生の手で、クロマツの苗の植栽や間伐、ネームプレート(松の戸籍銘板)の取り付けなどが進められています。

ふるさと光の象徴とも言える美しい自然の海、砂浜、松林を、これからもずっと皆さんが愛し、誇りに思えるよう、大切に守り育てていきたいと思えます。





# 山口国体リハーサル大会 バドミントン競技大会開催

今年10月には、いよいよ第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」が開催されます。

そのリハーサル大会として、昨年11月21日～23日、光市総合体育館（光井）で、「バドミントン日本リーグ2部ひかり大会」が開催されました。



男女各8チームによる総当たり戦で、優勝チームは1部リーグへの昇格をかけて、最下位チームはチャレンジリーグへの降格阻止をかけて、それぞれ入替戦に出場することになるのです。どのチームも真剣そのものでした。3日間という超短期決戦のため、番狂わせの可能性もあり、



浅江中出身の松尾光平選手  
(宇部興産クラブ)

気を抜くことは許されません。

注目は、このたび2部リーグに昇格し、初参戦となる宇部興産クラブ。山口県の国体強化選手7名を擁し、国体に向けて実力が試されます。

なかでも、光市出身（浅江中）の松尾光平選手がチームの主力メンバーの1人ということで、応援にも力が入ります。

松尾選手は、風邪による体調不良で初日は欠場したものの、2～3日目に出場し、2勝を挙げる活躍を見せました。チームとしても、初参戦ながら8チーム中4位の成績を収め、強化選手たちの国体での活躍が期待されます。



## おいでませ！山口国体

君の一生けんめいに会いたい

平成23年10月1日から11日にかけて、第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」が開催され、全国から2万人を超える選手団が集結します。山口県での国体の開催は、昭和38年以来、48年ぶりのことです。

光市では、セーリング・バドミントン・レクリエーション卓球の3種目が行われます。

- セーリング  
10月2日（日）～5日（水）  
山口県スポーツ交流村（光井）
- レクリエーション卓球  
10月6日（木）  
大和スポーツセンター（岩田）
- バドミントン  
10月7日（金）～10日（月）  
光市総合体育館（光井）

◎48年前の山口国体の写真を、光市ホームページに掲載しています。「光市 国体」で検索！

光市 国体

検索

Click!!

## ふるさとだより

ふるさとの話題をピックアップして  
皆さんにお届けします。

### 東荷ほたるまつり

6月4日（土）

伊藤公記念公園からほど近い東荷小学校で、恒例のほたるまつりが行われます。東荷ゲンジボタル同好会の案内で、夜空を舞うホタルを鑑賞できます。

豊かな自然が残る伊藤博文公のふるさとで、幻想的な光の軌跡に、しばし時を忘れることでしょう。

### クサフグの産卵

5月中旬～7月上旬

室積半島の南側、杵崎から鼓ヶ浦の海岸は、クサフグ産卵地として山口県天然記念物に指定されています。

月曆にあわせて押し寄せる数千のクサフグたち。その生命の神秘のいとなみは、光市の初夏の風物詩となっています。